

福岡市都市高速道路の利便性の向上を図る普通車専用出口（OFF）ランプの提案

都市高速の渋滞緩和、定時性の確保、利便性の向上、安全性を図るため、ランプ等の新設及び延伸する必要があります。それには多額の事業費と長期の施工期間が掛かる。事業費を軽減し施工期間の短縮を図るために、普通車専用の出口（OFF）ランプ1車線構造の道路4箇所を改善を提案するものです。

都市高速の利用形態をみると、殆どが普通自動車等の軽量車両です。慢性的に渋滞している箇所の渋滞緩和を図るためには、普通車専用の出口ランプを延伸及び追加し、本線に渋滞を発生させない対策が必要です。そこで、混雑が頻繁に生じている出口ランプの改善を行い本線の渋滞を緩和することで、普通車等の交通をスムーズに流出させることにより、路線バスなどの旅行速度が向上し定時性の確保が図られます。

1) 名島～香椎浜間で新たにアイランドシティへの普通車専用の OFF ランプ

都市高速の貝塚方面から最短でアイランドシティ向きに出口専用ランプのみを新設し、事業費の削減と新子供病院、海の中道海浜公園等へのアクセスとして利便性の向上を図る。

現在、計画されている道路は、事業費が高く、新たに交通需要が伸びることは期待できない。この様に費用対効果の悪いと想定されるが、子供病院など緊急を要する場合があります。病院近くまで OFF ランプの延伸は必要であるが、帰りは急ぐ必要がないため ON（入口）ランプはあえて必要でない。また、ここの都市高速道路の利用者はアイランドシティ、西戸崎、雁ノ巣等方面の住民や国営海の中道海浜公園等の利用者で、車種は普通・軽自動車が大半を占めており、大型車対応の橋梁構造は必要ないと考えられます。OFF ランプは、普通車専用タイプで、狭幅員の橋梁構造とし事業費の大幅な削減を図ることができます。

2) 空港通出口ランプの延伸で定時性の確保、利便性の向上を図る

福岡空港国内線への定時性の確保、利便性の向上を図るため、普通車専用 OFF ランプを国内線まで、主に中央分離帯に高架橋構造等で、その下部も現況の交通は確保して延伸する。航空規制の問題も考慮しなければならないが、空港まで横付けできると利便性が大幅に向上する。

3) 呉服町出口ランプの延伸で都市高速本線と現道の渋滞緩和と旅行速度の改善

都市高速呉服町ランプ出口は、天神に向う昭和通りと接続しているが、交差点、バス停があり慢性的に混雑している。このため、OFF ランプを昭和通りの天神方向の大博通り交差点を越させるものと大博通りの博多駅方向へ接続の2コースに分散した延伸 OFF ランプを設けることにより渋滞緩和が図られる。

4) 半道橋出口付近に普通車専用ランプで本線混雑の緩和と市街部への利便性の確保

朝夕の本線混雑の緩和と博多駅、空港国際線、国内線等への利便性の確保を図るため普通車専用 OFF ランプを新設する。

半道橋出口は、高速太宰府 IC から博多駅など市街地方面に行くための直近の出口である。そのため出口ランプは、利用者が多く本線まで渋滞が発生し、本線の旅行速度は低下し、定時性や利便性が悪化し交通安全が危惧されている。これらを解消するため普通車専用 OFF ランプを新設し、混雑時は渋滞をランプ上のみで解決させ、本線はスムーズな走行ができるようにする。